

都市再生整備計画 事後評価シート  
上大岡駅周辺地区

平成23年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	上大岡駅周辺			面積	約7ha		
交付期間	平成19～22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,262.2百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道上大岡第345号線、市道上大岡第526号線、市道東永谷626号線)、地域生活基盤施設(上大岡C南地区自転車駐車場)、高次都市施設(地下通路改修)、高次都市施設(立体横断施設への屋根架け)										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	高質空間形成施設(電線類地中埋設施設)					電線共同溝工事が電線共同溝法に基づく方式であり、高質空間形成施設から道路へ事業項目を変更したため。			影響は無い。		
		提案事業	-					-			-		
		新たに追加した事業	-					-			-		
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合見)	予定時期		
	指標1	来街者数(鉄道乗降客数)	人/日	200,000	H17	H22		212,081	○	あり なし	再開発ビルがH22年4月にオープンしたことで、鉄道乗降客数が増加し、駅周辺地区の生活利便性が向上し、地域全体の活性化につながった。	平成23年8月	
	指標2	放置台数	台	790	H17	H22		170	○	あり なし	公共自転車駐車場約700台が整備されたことで、区内の放置台数が減少し、歩行者空間の安全性や快適性が創出された。	平成23年4月	
	指標3	居住人口	人	300	H17	H22		1,110	○	あり なし	駅に直結し、商業、生活利便施設と複合した共同住宅を整備したことで、住宅の完売につながり、定住人口の回復が図られた。	-	
	指標4	鎌倉街道混雑率	m	140	H16	H22		118	△	あり なし	周辺道路の拡幅整備により、交差点の平均滞留長が短縮され、自動車交通の円滑化が一定程度図られた。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合見)	予定時期		
	その他の数値指標1	滞留長(関の下交差点)	m	89	H16		55			周辺道路の拡幅整備により、交差点の平均滞留長が短縮され、自動車交通の円滑化が図られた。	-		
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	シネマコンプレックス、フィットネスクラブと大規模量販店等がオープンしたことで、周辺商業施設の入店客数が増加し、近接する商店街でも新たに飲食店が出店するなど、地域全体の活性化が図られている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

## 様式2-2 地区の概要

### 上大岡駅周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画の成果概要

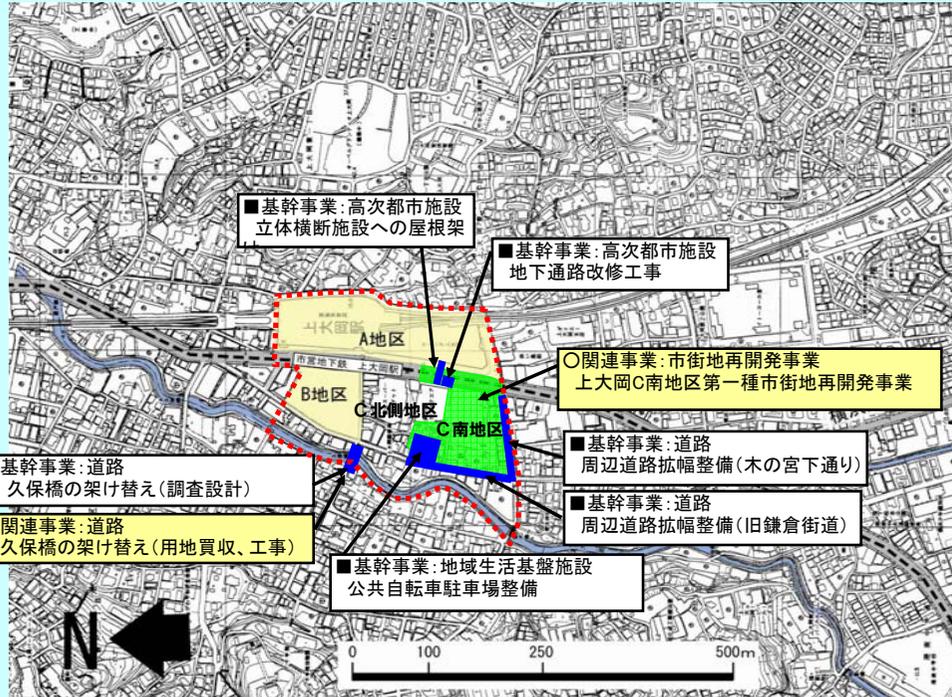
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
	上大岡周辺地区の市街地再開発事業により、商業・業務施設・住宅の立地を図り、駅前商業地の活性化と中心市街地における定住人口の回復を目指します。 また、都市計画道路3・3・5号線の拡幅整備による交通機能の向上や周辺道路の拡幅整備、並びに公共自転車駐車場を整備し、駅周辺の収容台数の強化等により、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。	来街者数(鉄道乗降客数)	単位:人/日	200,000 H17	210,000 H22
放置台数		単位:台	790 H17	610 H22	170 H22
居住人口		単位:人	300 H17	1,100 H22	1,110 H22
鎌倉街道混雑率		単位:m	140 H16	100 H22	118 H22
		単位:		H	H



■久保橋の架け替え(調査設計)  
○久保橋の架け替え(用地買収、工)



■公共自転車駐車場整備



■周辺道路拡幅整備(木の宮下通り)



■周辺道路拡幅整備(旧鎌倉街道)



■地下通路改修工事



○上大岡C南地区第一種市街地再開発事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模な商業施設等が整備されたことで、駅周辺地区の生活利便性が向上し、地域全体の活性化につながった。また、共同住宅も整備され、定住人口の回復が図られた。</li> <li>○ 大規模な商業施設等がオープンし、渋滞が懸念されたが、周辺道路が拡幅整備されたことで、自動車交通の円滑化が図られた。引き続き、鎌倉街道の拡幅整備など自動車交通の円滑化を推進していくことが必要である。</li> <li>○ 公共自転車駐車場約700台が整備されたことで、地区内の放置台数が減少し、安全で快適な歩行者空間が創出された。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の連携に寄与するようなソフト面からの支援を検討し、駅前周辺地区の生活利便性や地域活力の向上を図っていく。</li> <li>○ 残るC北側地区のまちづくりに合わせて鎌倉街道の拡幅等を行い、自動車交通の円滑化を図っていく。</li> <li>○ 引き続き地域住民と関係行政機関が協力しながら、放置自転車対策を推進し、歩行者空間の安全性や快適性を高めていく。</li> </ul>

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
上大岡駅周辺地区

平成24年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街者数(鉄道乗降客数)	人/日	200,000	212,081	確定 見込み ●	○	あり なし	211,574	H23年8月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	再開発事業によって駅周辺の生活利便性が向上し、集客増加や定住人口の回復につながっている。
指標2	放置台数	台	790	170	確定 見込み ●	○	あり なし	336	H23年4月	○	駐輪場の利用率が一定にとどまり、推計した評価値に至らなかったため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	今後も放置台数を減少させていくためには、駐輪マナー向上の取組みを強化する必要がある。	
指標3	居住人口	人	300	1,110	確定 見込み ●	○	あり なし	-	H 年 月	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅直結の商業施設を複合整備した共同住宅が完売するなど定住人口の回復につながっている。
指標4	鎌倉街道混雑率	m	140	118	確定 見込み ●	△	あり なし ●	-	H 年 月	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	周辺道路の拡幅整備によって平均滞留時間が短縮され、自動車交通の円滑化が一定程度図られている。
指標5					確定 見込み ●		あり なし	-	H 年 月	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	滞留長(関の下交差点)	m	89	55	確定 見込み ●	/	/	-	H 年 月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	周辺道路の拡幅整備によって平均滞留時間が短縮され、自動車交通の円滑化が図られている。
その他の数値指標2			/	/	確定 見込み ●	/	/	/	H 年 月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	確定 見込み ●	/	/	/	H 年 月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	駅周辺地区の生活利便性や地域活力の維持	事後評価時には整備中だった地下通路とデッキ屋根が完成し、供用開始された。	駅周辺地区のバリアフリー化や各施設を結ぶ歩行者動線の回遊性向上につながった。	引き続き駅周辺地区の生活利便性や地域活力の維持を進めていく必要がある。
	自動車交通の円滑化	鎌倉街道幅幅を踏まえたC北地区の再開発事業の検討を行った。	地権者の合意形成が進捗し、平成24年度に再開発事業の準備組織が設立される予定となった。	引き続き自動車交通の円滑化に向けて、C北地区の再開発事業の検討を進めていく必要がある。
	歩行者空間の安全性、快適性の向上	地域の協力を得て、自転車等放置防止監視員の配置や放置禁止を注意喚起するチラシを放置自転車に貼り付けるなど駐輪マナー向上の取組みを行った。	放置台数の減少につながった。	引き続き放置台数の減少に向けて、駐輪マナー向上に取り組んでいく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	自動車交通の円滑化	鎌倉街道幅幅を踏まえたC北地区の再開発事業の検討を行った。	地権者の合意形成が進捗し、平成24年度に再開発事業の準備組織が設立される予定となった。	引き続き自動車交通の円滑化に向けて、C北地区の再開発事業の検討を推進していく必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(清算報告)

かみおおおかえきしゅうへん  
上大岡駅周辺地区

かながわけんよこはまし  
神奈川県横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	上大岡駅周辺地区	面積	約7 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 22 年度				

**目標**  
 上大岡周辺地区の市街地再開発事業により商業・業務施設・住宅の立地を図り、駅前商業地の活性化と中心市街地における定住人口の回復を目指します。  
 また、都市計画道路3・3・5号線の拡幅整備による幹線道路の交通機能の向上や周辺道路の拡幅整備、並びに公共自転車駐車を整備し駅周辺の収容台数の強化等により、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況

上大岡駅周辺地区は横浜市の副都心に位置付けられ、市営地下鉄、京浜急行及び路線バス等により、一日の乗降客数27万人が集中するターミナル拠点です。このため、従来より駅前商業地としてのポテンシャルが高く、大型店の立地や商店街の形成が図られてきましたが、近年は周辺地区での開発も進み、大型量販店の画一的な集積がされている当地区は、施設内容が乏しいため来街者の減少が著しく、周辺商店街の衰退や、近年の経済不況による大型店の撤退等により、駅前商業地としての機能低下が進んでいます。また、都市基盤施設が脆弱なことが

**課題**

駅前商業地としての機能の低下  
 道路ネットワーク機能の低下  
 駅周辺の放置自転車等による歩行者空間の機能の低下

**将来ビジョン(中長期)**

- 横浜市中期政策プラン  
 上大岡駅西口周辺地区の再開発
- 横浜市都市計画マスタープラン(港南区プラン)  
 区の中心部としての上大岡駅周辺

**目標を定量化する指標**

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
来街者数	人	従前来街者数は、上大岡駅の乗降客数より推定	大規模交通マニュアルによる(休日)	200,000人	平成17年度	210,000人	平成22年度
放置台数	台	市が実施する放置自転車等の調査による	将来の自転車等集中台数、人口推移などから算定	790台	平成17年度	610台	平成22年度
居住人口	人	従前値は実績、目標値はワルーム1人、ファミリータイプ2.53人	目標値 ワルーム45戸×1人、ファミリー295戸×2.53人	300人	平成17年度	1,100人	平成22年度
鎌倉街道混雑率	m	渋滞長による(平和堂ビル前交差点)	大規模交通マニュアルの算定による付加分を基に算定	140m	平成15年度	100m	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>街の防災性の向上と都市機能の集積</li> </ul>	地下通路改修
<ul style="list-style-type: none"> <li>上大岡駅周辺の交通ネットワーク機能の向上</li> </ul>	周辺道路改修整備 地下通路改修
<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者空間機能の向上</li> </ul>	公共自転車駐車場の整備 地下通路改修 A-Cデッキ改修(立体横断施設への屋根架け)
その他	

